

C)高脂血症と気分障害を示す肝障害例

高脂血症と肝機能異常を指摘され受診、気分障害に対する投薬を受けていた。既知の肝障害マーカーは全て陰性であったが、CK が 3,000U/L と著明に上昇し、TSH の著明な上昇、FT3、FT4 の低下がみとめられ、甲状腺機能低下症による肝障害と診断した。甲状腺抗ペルオキシダーゼ抗体が陽性であった。甲状腺ホルモンの補充のため、チラージンの投与を開始したところ、約 1 か月で TSH、FT3、FT4 は正常化し、高脂血症、肝機能も著明に改善した。軽度むくみ傾向であった顔貌も改善し、発声も力強く表情も明るくなった。高脂血症、気分障害は甲状腺機能低下との関連が推測された。筋肉痛などの症状は全くなかった。CK の高値は、筋組織におけるミクロレベルでの粘液水腫変化が推測されている。